

2016 AUTOBACS SUPER GT Round 2 FUJI GT 500km RACE

2016年5月3日(火)～5月4日(水)

決勝 レポート

110 Laps



場所: 富士スピードウェイ (静岡県) 1周 4.563 km

天候: 晴れ / コース: ドライ / 気温: 26℃ / 路温: 40℃ / 観客動員数: 50,100 人

ポイント獲得ならず

2016年 SUPER GT 第2戦の決勝が富士スピードウェイ(静岡県)で行われた。朝方の嵐が嘘のように晴れ渡り、ゴールデンウィークにふさわしい青空の下、レースは始まった。

5月4日(水)

<決勝 110LAPS / 14:00～>

この富士スピードウェイは、スタート直後に富士独特の長いストレートで後続車にパスされずに周回出来るかが、勝敗のカギである。予選は単独で周回し、コーナースピードでタイムを稼ぐ事が出来るが、決勝レースではそうはいかない。1周のフォーメーションラップ後、500kmレースのスタートはきられた。スタートを受け持った山



www.rdsport.net

内英輝は、ポジションを守るところか果敢にアタックを繰り返し、6位にポジションを上げる。しかし20周目に痛恨のスピン。順位を大きく下げる。山内は猛追を見せ、28周目にピットインして井口卓人に代わる。井口も素晴らしい走り続け、赤旗直後の70周目にピットイン、再び山内に代わる。この時点で8位まで上がっていたが、ドライブスルーペナルティーにより11位まで順位を下げレースを終えた。なお、GT500クラスの優勝は#1 MOTUL AUTECH GT-R が、GT300クラスは#3 B-MAX NDDP GT-R が制した。



■本島監督 コメント



厳しいレースでしたが、今年やってきた事の成果が徐々に出てきたと思います。期待して応援に来て下さった SUBARU ファンの方々に早くトップを走る BRZ を見てもらえる様頑張ります。

■井口 卓人 コメント



予選は、選んだタイヤの中では僕も山内選手も最大限のパフォーマンスは出せたと思っています。決勝では、序盤のパフォーマンスが高かったものの、タイヤの磨耗状況や燃費の問題で、苦しいレースになりました。僕のミスでドライブスルーペナルティーにもなっちゃい、申し訳なく思っています。決勝の速さはあったと思いますが、歯車の噛み合わない決勝レースだったと思います。次は、同じようなミスをしない様に、気持ちを引き締めていきます。

■山内 英輝 コメント



最初は無理にでも前に出てクリアラップでマシンの良さをしようとしたのですが、タイヤに負担をかけてしまいました。最後のステントもペースを上げすぎるとやはりタイヤに厳しく、思ったようなタイムを維持できませんでした。ファンの皆さんには申し訳ない気持ちでいっぱいですが、これまでのデータをポジティブな方に向けられるよう、今後のテストも頑張りたいと思います。

決勝の詳細に関しては SUPER GTホームページ <https://supergt.net/> 、
またSUBARUモータースポーツニュース <http://www.subaru-msm.com/2016/sgt/> もご覧ください

2016年5月4日
SUBARU BRZ
アールアンドデースポーツ
<http://www.rdsport.net/>



www.rdsport.net